

美々津中学校通信

謹賀新年～2025年

1月号
R7.1.1

発行者校長



美々津中HPへ

新年明けましておめでとうございます。令和七年（二〇二五年）がスタートしました。今年が皆さんにとって実り多い素晴らしい年にになりますよう願っています。さて、今年は「巳年」です。巳（み・へび）は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため巳（み・へび）の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。コロナ禍が終息した今、「不易」と「流行」を考えさせられます。本来なら10年ぐらいいのスパンで変化（進化）していったはずのものが、コロナ禍を通してわずか2,3年で変わってしまったものが多数見受けられます。その最たるもののが学校では、タブレットで、世の中では電子決済やオンライン化などがそれに当たります。つまり、あらゆるものがデジタル化されています。生徒は、まさにその変化に柔軟に対応していく必要があります。巳年は、その変化に対応し発展できる年になるといわれていますの動していくことが必要です。ぜひ、そんな年になります。ぜひ、そんな年になりますがんばっていきましょう。



（校長）なぜ、生徒会役員になろうと思つたのですか？
（古川）役員になることで自分を高めようと思ったからです。

校長と生徒会役員との対談

1月号
R7.1.1

発行者校長

十月三十一日（木）に新生徒会役員に任命され、早一ヶ月半が過ぎようしています。十二月十一日（水）の昼休み時間に新生徒会役員3名（会長・敷田心咲さん、副会長・古川煌翔さん、同・治田健伸さん）と校長との対談を行いました。新生徒会役員の意気込みや校長からの期待を交えながら和やかな雰囲気の中で対談が行われました。

（校長）美々津中の課題は何だとおもいますか？
（治田）二分前着席や言葉遣いが良くない人がいることです。
（校長）それは、「一年生としての課題」ということですね。
（敷田）昼休み時間に貸し出す道具の使い方悪いことです。
（古川）自分も同じく道具の使い方が悪いことです。

（校長）それは、2年生としての課題ですね。それぞれ所属している学年の課題のようですが、それでは今後、専門委員会や中央委員会取り上げて解決していくかないとおもいます。ぜひ、そんな学校になることを期待しています。



（治田）これまでの生徒会役員の活動している姿を見て、私も学校で地域のために力になりたいと思つたからです。
（校長）古川さんの役員になることで自分を高めるという考えは、とてもすばらしいことだと思います。がんばってください。

（古川）いろいろな行事に生徒全員が自主的に協力していけるように、他学年との交流をもう増やしていきたいです。
（治田）伝統を引き継ぎ、全員が楽しく生活できるように具体的な策を考えていきたいです。
（敷田）学力向上、清掃活動に力を入れていきたいです。また、明元素であふれる学校を目指すために「やさしい言葉の木」の活動をより一層進めていきます。

（校長）今後、美々津中をどうしていきたいですか。そのためには生徒会役員としてどうしていきますか。
（古川）いろいろな行事に生徒全員が自主的に協力していけるように、他学年との交流をもう増やしていきたいです。
（治田）伝統を引き継ぎ、全員が楽しく生活できるように具体的な策を考えていきたいです。
（敷田）学力向上、清掃活動に力を入れていきたいです。また、明元素であふれる学校を目指すために「やさしい言葉の木」の活動をより一層進めていきます。
（校長）3人とも生徒全員が規律ある中にも、楽しく、協力します。やさしい雰囲気のある学校にしたいということですね。とても重要なことが含まれていると思います。ぜひそんな学校になることを期待しています。

一年生 港湾工事見学会



この日は、天候に恵まれ、海上での風もほとんどなく風の状態でした。本校一行は、宮前建設様より学校までバスによる送迎を受け、まず細島港湾福祉センターに到着しました。ここで港湾工事における講義を受けた後、二班に分かれ観光船に乗り、そこで現場見学と使用機械の操作体験を行いました。観光船での現場見学は、沖合3kmでの防波堤工事を見学しました。人の何倍もあるテトラポットをいくつも埋め込んでいく作業は、そのスケールの大きさに驚くばかりだったようです。一方で、工事で使用されているクレーンを陸上で操作する体験では、その迫力に圧倒されたようでした。海上での工事というあまり近くで目につけることのない見学・体験は生徒たちにとって大変貴重な機会となりました。

十二月十三日(金)、宮前建設様による細島港防波堤消波ブロック据付工事の見学依頼を受け、この程、本校1年生が校外学習として参加しました。



そもそも、門松はどんな意味で由来があるのかを調べてみました。門松は、正月に年神様がやつてくるための目印として備えられてものだそうです。年神様とは、その年の福や徳をつかさどる歳徳神（としとくじん）や穀物の神、先祖の靈などの複数の神様が一つにまとめられた民間信仰として伝わったものとされています。そのため、お正月に年神様を家へお迎えするには門松が必要になってきたということです。

昨年に引き続き、今年も門松の寄贈がありました。寄贈していただいたのは、黒木優那さん（3年）、黒木太陽さん（1年）の保護者である黒木博之様です。竹細工のお仕事をされていることから、毎年小学校に寄贈をされていましたが、中学校にも昨年から寄贈していただいています。竹と松を巧みに加工し、見事な門松に仕上げられています。この素晴らしい門松を飾り、新年を迎えられるというは、大変光栄で感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



この取組を通じて、生徒個々人が相手のことを敬い、いつもやさしい言葉で満ちあふれています。美々津中学校でありたいと願つています。

十二月九日(月)、美々津中の開かれました。今回は「SOSの出し方について学ぶ」「やさしい言葉や元気が出る言葉を考える」の2つがテーマです。前半は本校のスクールカウンセラーである西田守先生から「SOSの出し方」について講話をいたしました。後半は本校独自の取り組みである「やさしい言葉の作成」(毎学期実施)で「落木のち込んではいる人に声をかけよう」というテーマで、「花びらのカードに言葉配付します。それをおもてに模造紙を書き込みます。大きな木が書り付けて花びいきか込まれた。さしあげます。さしあげます。全校生徒のが書り付けて花びいきか込まれた。

行事予定

- 1月 7日(火)始業の日
1月 8日(水)職員会・RD
1月 9日(木)実力テスト(全学年→10日)
1月 13日(月)祝 成人の日
1月 14日(火)PTA立番指導(→17日)
1月 15日(水)小中合同研修会(寺迫小)
1月 17日(金)英語検定
1月 19日(日)家庭の日
1月 20日(月)新入生保護者説明会
1月 21日(火)読み聞かせ
1月 22日(水)職員会・RD
1月 26日(日)日向市防災訓練
1月 27日(月)私立入試事前指導
　　教育相談(→31日)
1月 28日(火)私立入試(日大・第一・
　　ウルスラ)
1月 29日(水)私立入試(延学・日章)
　　職員会・RD

部活動計画

◆軟式野球部

◇練習試合等（未定）

◆女子ソフトテニス部

- 1月12日(日) 練習試合等（財光寺・東郷）
 1月18日(土) 練習試合等（市内4校）
 1月25日(土)
 ★日向地区交流ソフトテニス大会（牧水公園）
 ☆地区選抜大会（生目の杜）

◆ 占球部

1月35日(土)

★高鍋町新春直球大会（高鍋町3本。=ツルケンターナメント）

◇練習試合等（未定）